

医学教育分野別評価
琉球大学医学部医学科
年次報告書
2021 年度

評価受審年度 2017 (平成29) 年

令和 3 年 8 月

琉球大学医学部



評価受審年度 2017（平成29）年

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.11

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.33

はじめに

本学医学部医学科は、2017年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2018年11月1日より7年間の認定期間が開始した。医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.33を踏まえ、2021年度の年次報告書を提出する。なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2020年4月1日～2021年3月31日を対象としている。

**医学教育分野別評価 琉球大学医学部医学科 年次報告書
令和3年度**

評価受審年度 2017（平成29）年

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.2 大学の自立性および学部の自由度
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 導入が計画されている「沖縄特色科目」の確実な履行が期待される。	
現在の状況	
・ 3年次学生に対して「沖縄特色科目」を継続して実施している。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料1.2.1：シラバス（沖縄特色科目）	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.3 学修成果
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
・ 学修成果を教員、学生に十分に周知すべきである。	
現在の状況	
・ 入試説明会、入学オリエンテーション、授業など、あらゆる機会を捉えて周知をはかる努力を続けている。	
今後の計画	
・ 主に、教員を対象として、学修成果ならびに学修成果基盤型教育の理解を深めるためのFDを企画している。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.3 学修成果
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 卒前と卒後の学修成果の関連をより明確にすることが望まれる。	
現在の状況	
・ 関連性に関する検討は進んでいない。	
今後の計画	
卒後の臨床研修に関する学修成果との関連について、キャリア支援センターと医学科教務委員会・医学教育企画室の緊密な連携を計画している。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.4 使命と成果策定への参画
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 卒業時コンピテンスの策定には、学生、職員など、教育に関わる主要な構成者が参画すべきである。	
現在の状況	
・ 医学教育評価委員会、医学教育分野別評価対策委員会に学生が参画する規程を作成し、既に参加している。	
今後の計画	
・ 使命ならびに学修成果の改訂を行う仕組みを検討する。 ・ その際に、学生が参画する仕組みを構築する。	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料1.4.1：令和2年度第1回医学科医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.4 使命と成果策定への参画
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> 今後使命を改定する際には、他の医療職、患者代表者など、広い範囲の教育関係者の意見を聴取することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 使命・学修成果の改訂を行う仕組みを構築する段階である。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> 改訂する委員会のメンバーに誰を入れるべきか検討を開始する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> 卒業時コンピテンス、コンピテンシーを各科目の教育に十分に反映させるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 各科目で達成される学修成果を表にまとめてマトリックス表を作成した。 すべてのコンピテンスが組み込まれていることは確認した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> マイルストーンの作成ならびにコンピテンシーとの関係はこれから議論を始める予定である。 基礎医学、臨床実習において身に着けるべき態度・技能を洗い出し、どの学年、どの実習で学ぶかを検討する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> 資料2.1.1：科目・コンピテンシー対応表 	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.2 科学的方法
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
・ 臨床で活用するための体系的な EBM 教育の強化を図るべきである。	
現在の状況	
・ 現在進んでいない	
今後の計画	
・ 必要となる EBM の基礎的概念の教育、実践をどのように組み入れるか検討を始める予定である。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学・医療倫理学と医療法学
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 行動科学の体系的なカリキュラムを整備すべきである。	
現在の状況	
・ 精神医学、内科学、生理学、解剖学など複数の講座で、行動科学の講義を分担実施している。全体の統轄は、精神医学の近藤教授が行い、座学において基本的知識を習得し、TBL などアクティブラーニングを活用して実施している。	
今後の計画	
・ 授業アンケートなどを通じて学修成果が得られているかを検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料2.4.1：シラバス（行動科学）	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学・医療倫理学と医療法学
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要になると予測されることを定義し、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学のカリキュラムを検討することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員を中心に取り入れ、改訂しているのが現状である。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動科学にかぎらず、将来必要になると考えられる事項を検討する仕組みの構築を急いでいる。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての学生が、健康増進と予防医学を実際に体験できるようにすべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んでいない 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が体験出来る事項を検討する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 垂直的統合科目を開講する上での問題点を議論して、垂直的統合科目を拡充することが望まれる。	
現在の状況	
・ 多くの科目で垂直的統合が実施されている。	
今後の計画	
・ カリキュラム全体の統一性が取られているかを今後検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料2.6.1：シラバス（TBL）	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.7 プログラム管理
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 教育カリキュラムの立案と実施に責任と権限を持つ委員会の構成委員として、学生の代表を含めるべきである。	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教務準備委員会、医学教育評価委員会、分野別検討委員会へは参加しており、教育カリキュラムの評価、改訂方針決定のメンバーではある。 ・ 現在、最終的なカリキュラム決定の場である教務委員会への学生の参加の形態を検討している。 	
今後の計画	
・ 教務委員会、学生生活委員会への参画を含めて検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2.7.1：琉球大学医学部医学科医学教育評価委員会要項 ・ 資料2.7.2：琉球大学医学部医学科医学教育分野別評価対策委員会規程 	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.7 プログラム管理
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育カリキュラムの立案と実施に責任と権限を持つ委員会に、教員と学生以外の教育の関係者の代表を含むことが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行していない 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の関係者の代表を入れることは決定しているが、その人選を急いでいる。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識、技能、態度の領域に合致した評価を学修段階に応じて系統的に実施すべきである。 ・ 臨床実習現場においてさまざまな評価を確実に実施すべきである。 ・ 学生の成長に関する記録を蓄積して、形成的評価に活用すべきである。 ・ 疑義申し立てについて、医学部として組織的な対応の仕組みを構築すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 態度の評価に関しては、教授会で共通理解は得られた。評価への組み込み方法に関しては現在検討中である。 ・ 卒業時まで達成すべき技能に関して、臨床医学分野ではほぼ絞りこめた。ccEPOCなどを活用して達成度評価が可能かどうかを検討中である。 ・ 疑義申し立てに関しては規則にも入っており、各講座で対応している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生カルテの全学的導入に向けての検討を依頼している。 ・ mini-CEX など様々な評価法はこれから検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の信頼性と妥当性を検証することが望まれる。 ・ 基礎医学での各科目の評価方法、合格基準を統括的に検証、評価し、改善する仕組みを構築することが望まれる。 ・ 外部評価者を活用することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎系の科目においては、多くは統合科目であり、互いに試験問題は公開している。しかし、妥当性の検証は十分には行われていない。 ・ 総合試験 I～III に関しては、ブラッシュアップを行い、信頼性・妥当性の検証は行われている。 ・ そのほかの科目については、検証が進んでいない。 ・ 臨床実習後 OSCE には、外部委員（臨床教授、臨床准教授）が評価している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの評価の妥当性について、系統的に行われる仕組みの構築を検討する。 ・ そのほかの科目における外部評価者導入は今後検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3.1.1：PCCOSCE評価表 	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピテンシーの各項目に関連づけて科目での到達レベルを設定し、目的とする。学修成果の達成を保証する評価について検討し実践すべきである。 ・ 評価のフィードバックを確実にを行い、学生の学修を促進すべきである。 ・ 低学年から臨床実習に至る過程において、学生の成長に関する記録を蓄積して、形成的評価に活用すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ マトリックス表は作成終了している。 ・ 臨床実習においては、診療科毎にフィードバックを掛けている。 ・ 臨床実習の前、前半の終了後に総合的なフィードバックを掛けている。 ・ 学生カルテの準備を進めている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピテンシーとマイルストーンの関連付けを検討する方向で調整している。 ・ 基礎系科目でのフィードバックを進める体制を構築する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 形成的評価を繰り返し行い、具体的、建設的、そして公正なフィードバックを行うことが望まれる。	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎科目の一部に置いては、ミニテストなどを行い、理解が進んでいない学生には面談を行っている。 ・ 臨床実習においては、実習単位ごとにフィードバックを行っている。 ・ 総合試験の成績不良者は面談を行って、指導を加えている。 	
今後の計画	
・ 全ての科目でフィードバックを掛けることができるように進める	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ カリキュラムとして、中高学年でのキャリアガイダンス教育の導入が望まれる。	
現在の状況	
現在進んでいない	
今後の計画	
キャリア教育の導入をどのようにカリキュラムに組み入れるか検討を始める予定である。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

4. 学生	4.4 学生の参加
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、教育プログラムの策定、管理および学生に関する諸事項に関わる各種委員会に学生の参画を推進すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育評価委員会、分野別検討委員会、教務準備委員会にメンバーとして参加している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会、学生生活委員会への参加を検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料4.4.1：令和2年度第1回医学科医学教育評価委員会 議事要旨 ・ 資料1.4.1：令和2年度第1回医学科医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨 ・ 資料4.4.3：令和2年度第1回カリキュラム作成専門部会 議事要旨 	

今後改善が見込まれる項目

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員がカリキュラムの全体像を十分に理解するための適切なシステムを確立すべきである。 ・ カリキュラムの実施を確実に進めるよう、教員それぞれのエフォート率を組織的に管理すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であり、FDが少ない。 ・ 全学のFDで教育活動に関するFDが開かれている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育に特化したFDを企画する。(琉球大学の医学教育のプログラム、学修成果基盤型教育などの理解) ・ 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 学習環境を定期的・組織的に見直す体制を構築することが望まれる。	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート、評価委員会を通じて学生からの要望を取り入れている。 ・ 学生生活委員会を中心に教育設備、教育資源の充実に関する話し合いが行われている。 	
今後の計画	
・ 系統的に評価、要望を集約する仕組みを構築する予定である。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.5 教育専門家
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 学内外の教育専門家を活用し、すべての教職員の教育能力向上をさらに図ることが望まれる。	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であり、FD が少ない。 ・ 全学の FD で教育活動に関する FD が開かれている。 	
今後の計画	
・ 医学教育に特化した FD を企画する。(琉球大学の医学教育のプログラム、学修成果基盤型教育などの理解)	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育評価委員会は、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、課題の特定と対応についての評価を早急に遂行すべきである。 ・ 医学科の教学 IR 機能を実働させ、評価システムの充実化を図るべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタ項目について検討中である。 ・ 評価の体制は構築中である。 ・ リモート講義の効果に関して、アンケートを取った。その結果は、今後活用する予定である。 ・ 教学 IR に関しては、全学組織との協力関係を構築中である。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学修プログラムの評価体制を構築する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間で獲得される学修成果、社会的責任について、プログラムを包括的に評価することが望まれる。 	
現在の状況	
<p>長期間で獲得される学修成果、社会的責任を図るためにモニタすべき項目の洗い出しを行っている。</p>	
今後の計画	
<p>分野別検討委員会において、モニタ内容の決定を行う。 モニタを開始し、情報の集約化をはかる。 モニタを行う委員会、事務組織の集約化をはかる予定である。</p>	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 系統的に教育プログラム評価のための学生・教員からフィードバックを収集し、分析・対応すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生からの授業アンケート結果はあるが、プログラムに関してそれを評価するシステムが実質的には稼働していない。 従って、プログラムに関して学生・教員からのフィードバックを得る機会に限られている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> 卒業時にコンピテンスの達成状況に関してアンケートを実施し、プログラムに関するフィードバックを求める。 学年末に学生からフィードバックを求めるシステムを構築する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育プログラム評価のための教員や学生からのフィードバックをプログラム開発に活用する仕組みを構築することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 評価以前の状態である。 	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使命、学修成果、カリキュラム、および教育資源の観点から、学生と卒業生の実績に関するデータを収集し、分析すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業時成績、留年率などはモニタ出来ている。が、解析には至っていない。 ・ 遠隔事業の押下について、プログラム評価のための学生アンケートを実施した。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実績をはかるためのモニタ内容の検討を行う必要がある。 ・ プログラムの内容を押しはかるアンケートを実施予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の実績に関するデータを収集し、その結果を学生の選抜、カリキュラム立案、学生カウンセリングについて、入試委員会、教育委員会等へフィードバックを確実に提供することが期待される。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 解析ができる状態ではない。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、解析し、フィードバックをかけるシステムを構築する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.4 教育の関係者の関与
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育評価委員会が具体的に活動を行い、教育課程およびプログラムの評価結果を公開することが望まれる。 ・ カリキュラムに対して他の関連する教育の関係者からフィードバックを求めることが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別のプログラムに関するアンケート結果は教授会などを通じて公開されている。 ・ 関連する教育の関係者からのフィードバックは受けられていない。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価体制の構築を行い、評価を実施する。 ・ 他の関連する教育の関係者を選定する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

8. 統轄及び管理運営	8.1 統轄
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 統轄業務とその決定事項について、プロセスも含めた情報公開の一層の推進が望まれる。 	
現在の状況	
各教授が講座に持ち帰って報告している。	
今後の計画	
医学研究科（医学部医学科）執行部を中心に教授会の決議事項、重要事項の公開に関する取り組みを開始する。特に教務関係の決定事項について。	
現在の状況を示す根拠資料	